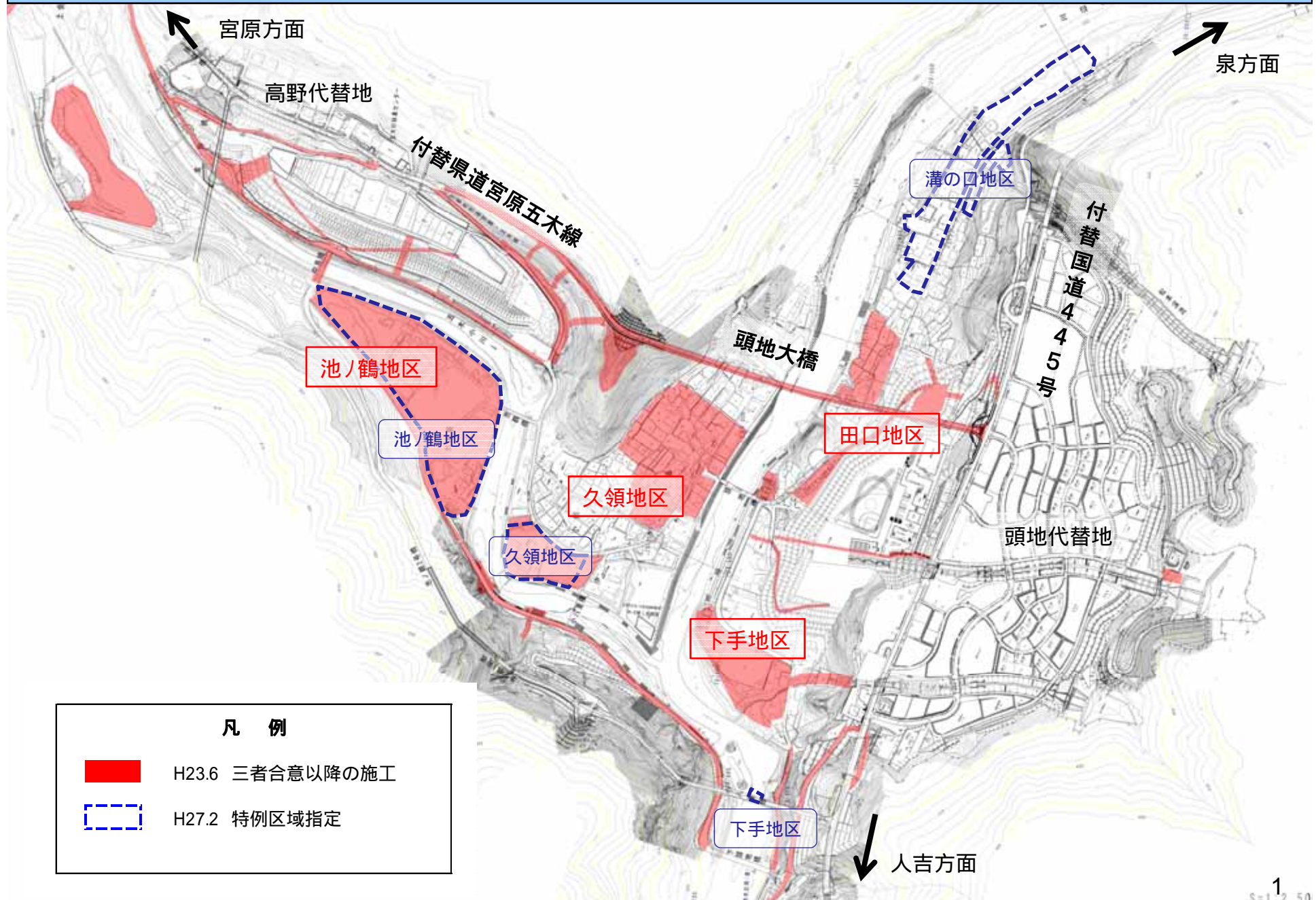


第9回五木村の今後の生活再建を協議する場
【国で実施している事業・支援】

平成27年8月31日

国土交通省 九州地方整備局

国で実施している主な生活再建対策の実施箇所



平成26年度実施箇所 道路の補修

村道として引き渡し予定の工事用道路の護岸補修及び排水対策を実施しました。



平成26年度実施箇所 坊主山周辺整備

坊主山周辺の法面对策及び排水対策を実施しました。

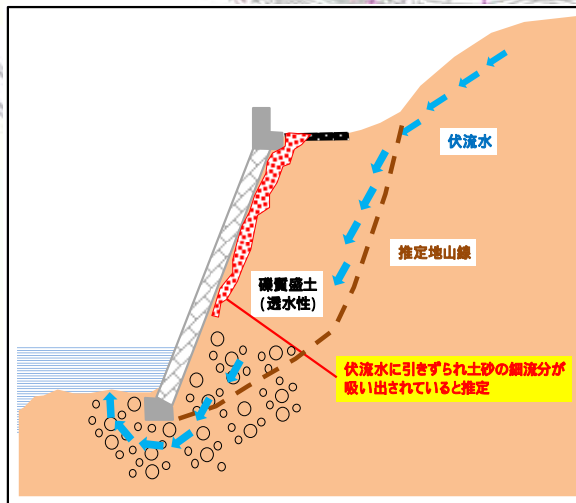


平成27年度実施予定箇所 道路の補修

村道として引き渡し予定の工事用道路の護岸補修及び排水対策を実施します。



池ノ鶴地区護岸

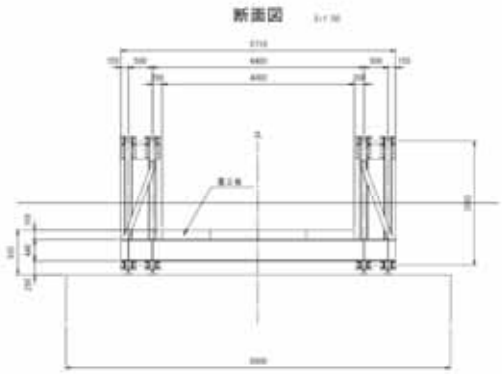
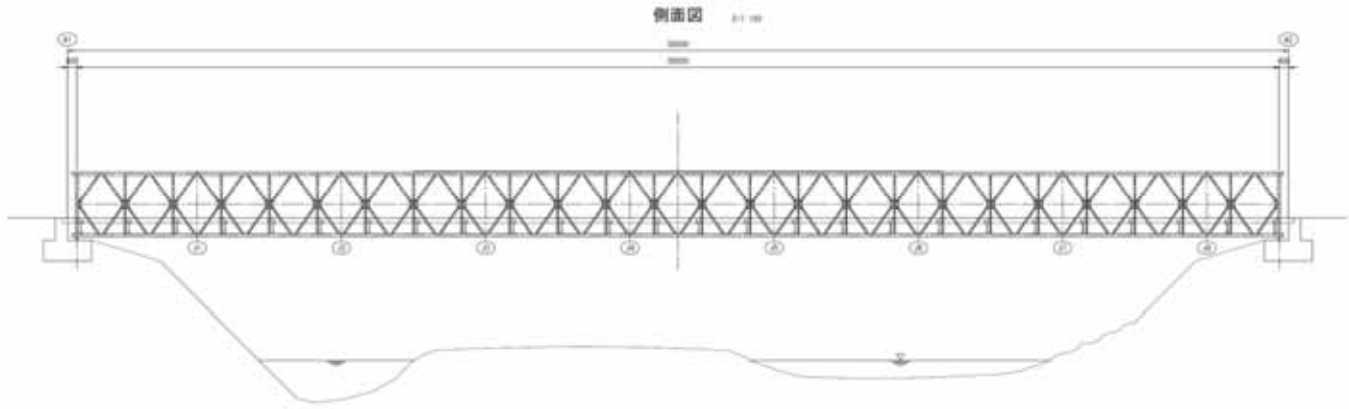
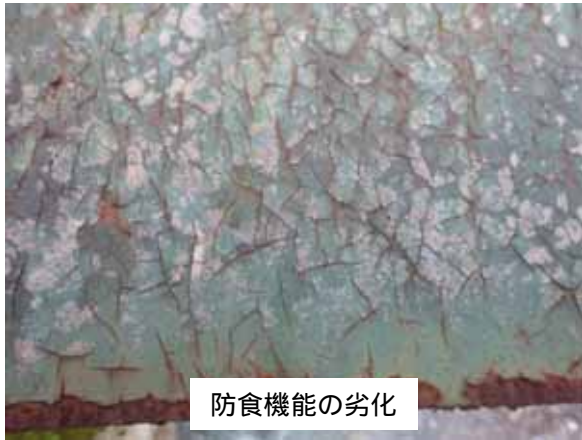


平成27年度実施予定箇所 橋梁の補修

村道として引き渡し予定の工事用道路の橋梁補修を実施します。



中島橋補修



水没予定地での特例区域指定と占用許可

民間事業者による営利活動が可能となる河川敷地占用許可準則による特例区域（第1次）を指定。

平成27年2月23日

河川敷地占用許可準則に基づく都市・地域再生等利用区域の指定

池ノ鶴地区(簡易な商業施設)

久領地区(簡易な商業施設)

4月24日 許可申請 → 4月30日 占用許可(自動販売機)

清楽地区(椎茸生産団地)

3月11日 許可申請 → 3月31日 占用許可(椎茸生産団地)

下手地区(バンジージャンプ)

2月19日 許可申請 → 2月23日 占用許可(银杏橋) → 3月1日 営業開始

4月 1日 許可申請 → 4月 7日 占用許可(小八重橋) → 7月4日 営業開始

溝の口地区(観光農園・鹿肉解体所)

3月 5日 占用申請 → 3月31日 占用許可(観光農園)

2月19日 占用申請 → 3月13日 占用許可(鹿肉解体所・自動販売機)



池ノ鶴地区(五木源パーク)



溝の口地区(観光農園・鹿肉解体所)



久領地区



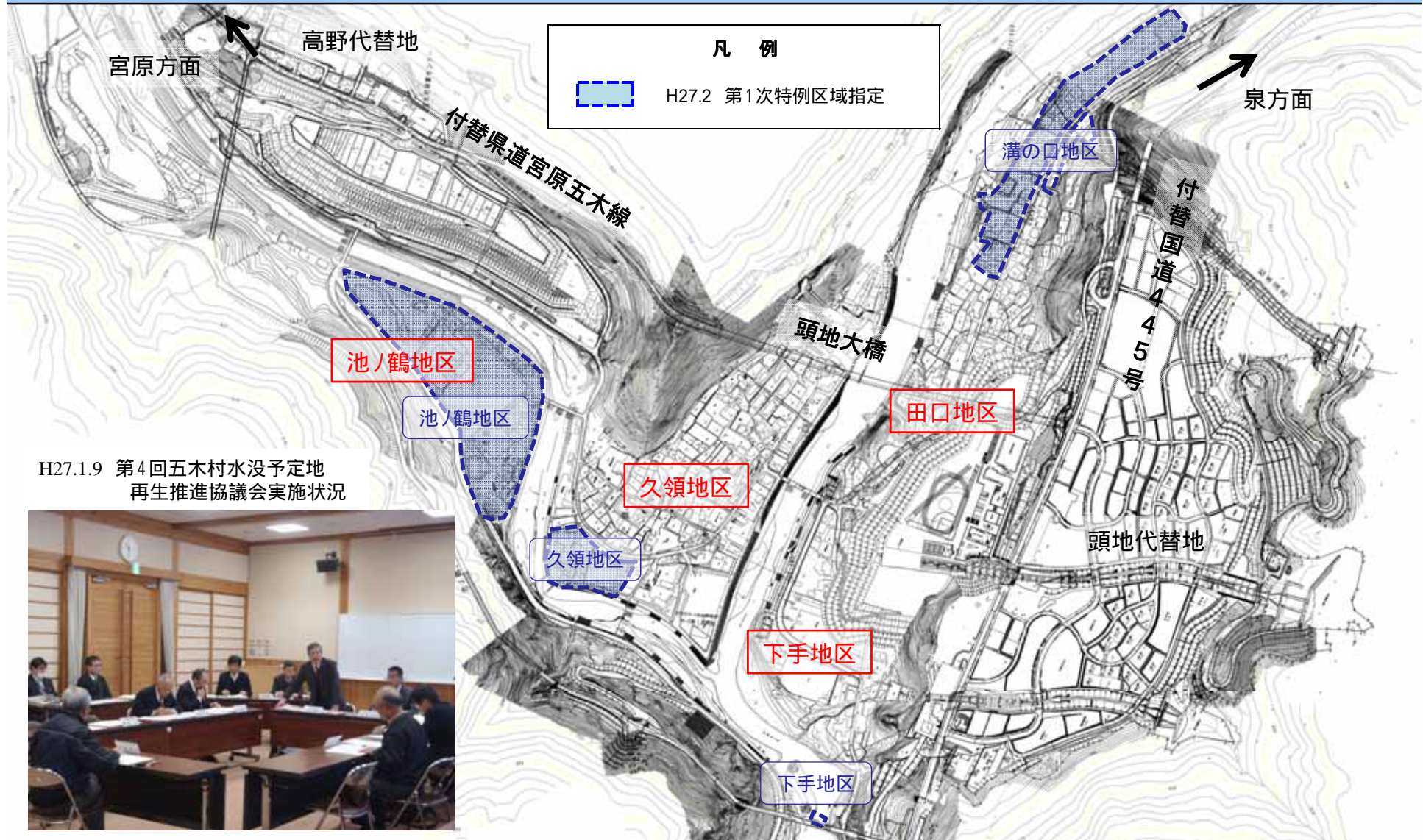
清楽地区(椎茸生産団地)



下手地区(バンジージャンプ)



水没予定地の利活用の取組



H27.1.9 第4回五木村水没予定地再生推進協議会実施状況



水没予定地利活用について、利活用の具体化に伴い順次、水没予定地再生推進協議会での共通認識を図りながら、地域の合意を踏まえ、区域指定や土地の占用許可、工作物の新設許可等の河川法の手続きを円滑に進めていきたい

地域貢献への取組

平成27年7月29日(水)に五木村役場と共同で頭地代替地内の田口・下手溪流保全工の除草を実施しました。



田口流路工の除草実施状況



下手流路工の除草実施状況



除草前



除草後



除草前



除草後

環境・安全への取組

平成27年8月20日(木)に五木東小、相良北小、相良南小を対象に「川辺川上下流子供交流会2015」を実施しました。



ボールを使ったゲーム



球磨川・川辺川について講義



川の安全教室



水生生物調査



清掃活動

砂防事業への取組

九折瀬砂防えん堤群

村道九折瀬線

溪流保全工

九折瀬
集落

九折瀬第2砂防えん堤
(H27.3完成)

九折瀬砂防えん堤
(H27.3完成)

国道445号線

川辺川

凡 例	
平成27年度	■ : 工事
	■ : 用地

砂防事業への取組



九州防災・火山技術センター土砂災害対策分室の設置

【センター長】

企画部長

【副センター長】

九州技術事務所長

川辺川ダム砂防事務所長

総括防災調整官

火山防災対策分析官

土砂災害対策分室

【センター員】

九州地方整備局(本局)

企画部 防災課

河川部 河川計画課

道路部 道路管理課

施工企画課

九州技術事務所

火山防災減災課

施工調査・技術活用課

防災・技術課

川辺川ダム砂防事務所

工務第二課

砂防工事課

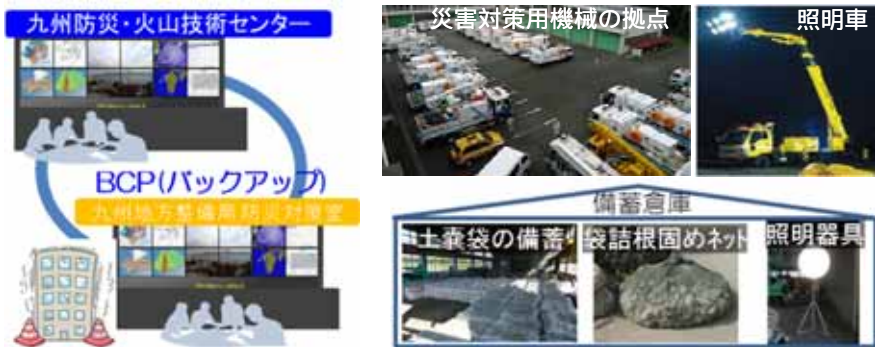
調査課

九州防災・火山技術センター-土砂災害対策分室の設置

九州防災・火山技術センター(久留米)

大規模災害対応(地震、津波、豪雨等)

整備局本局と同等の防災室を持ち、バックアップセンター機能の利を活かし、災害対策用機械の集積拠点機能
H24九州北部豪雨を踏まえた、災害時の資材備蓄拠点機能
実践的な防災訓練等の企画・運営機能、防災技術の開発機能
自治体への防災対策技術支援機能

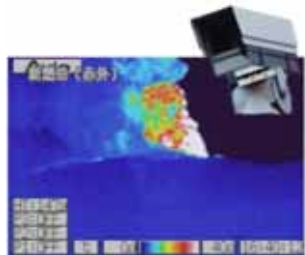


火山防災対応

火山が集中する九州の地域特性を活かし、火山防災技術については、全国の技術開発拠点(緊急調査、応急対策、観測機器等)として運用
火山災害等に関する研修・訓練の実施



ヘリによる降灰状況調査



火山噴火監視カメラ



自動降灰量計

土砂災害対策分室(川辺川ダム砂防事務所)

土砂災害対応

技術開発

川辺川流域の急峻な山地部を活用して、土砂災害対策に有用な機器の開発・運用方法の開発を実施。

- ・砂防GISを活用した緊急調査用タブレットの開発
- ・砂防パトロールカーの中型ヘリでのつり下げ空輸方法の開発
- ・GPS、レーザー計測器等を活用した土砂災害緊急調査方法の開発



パトロールカーの吊り下げ状況

職員の技術力向上のための研修・訓練の実施

川辺川流域の急峻な山間部を活用して、職員を対象に大規模土砂災害発生時の緊急調査や渓流点検の現地訓練の実施。



レーザー計測器を用いた緊急調査訓練

避難に関する住民・自治体支援

九州山地内に位置するモデル地区(熊本県球磨村、水上村、五木村等)において、自治体を対象とした訓練等の実施と検証。

住民・自治体向け勉強会・研修会の開催



避難訓練実施状況



住民との意見交換

地域単位での連携方策検討

現場レベルでの連絡会議や合同訓練の開催、関係機関の役割分担表の作成・共有等、出先機関の連携強化のための取り組みを実施。